会社概要

AGC株式会社

2025年6月改訂

Your Dreams, Our Challenge

目次

1. 企業情報 P.3

2. 2030年のありたい姿実現に向けて P13

3. 中期経営計画 ***AGC plus-2026*** P.17

付属資料 P.44

1. 企業情報

基本情報

代表取締役
社長執行役員・CEO
平井　良典

会社名	：	**AGC株式会社**
証券コード	：	**5201**
創立	：	**1907年 9月8日**
代表取締役	：	**平井　良典**
資本金	：	**909億円***
連結売上高	：	**2兆676億円***
連結従業員数	：	**53,687人***
連結子会社数	：	**186社** （うち海外149社）*

株主メモ

- 決算期　：**12月31日**
- 定時株主総会　：**毎年3月**
- 基準日
  - 定時株主総会　：**12月31日**
  - 期末配当　：**12月31日**
  - 中間配当　：**6月30日**
- 株主名簿管理人　：**三菱UFJ信託銀行(株)**
- 単元株式数　：**100株**
- 発行済株式総数　：**217,434,681株**

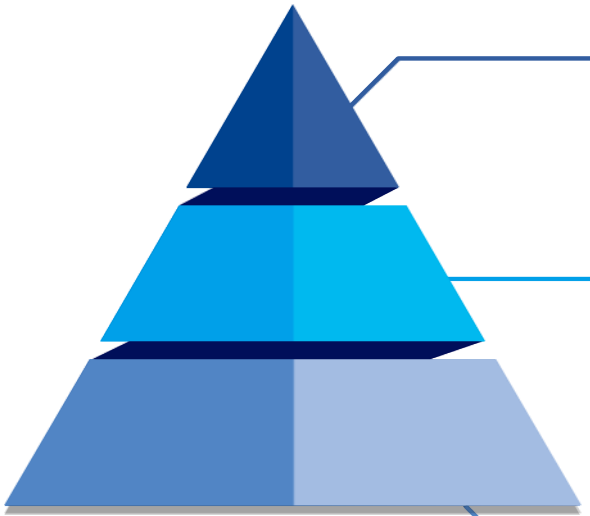
*2024年12月末現在

©AGC Inc.

AGCグループ企業理念

AGC
Your Dreams, Our Challenge

“Look Beyond”



私たちのパーパス

“AGC、いつも世界の大事な一部”

～ 私たちは先を見据え、独自の素材・ソリューションで、
いつもどこかで世界中の人々の暮らしを支えます～

私たちの価値観

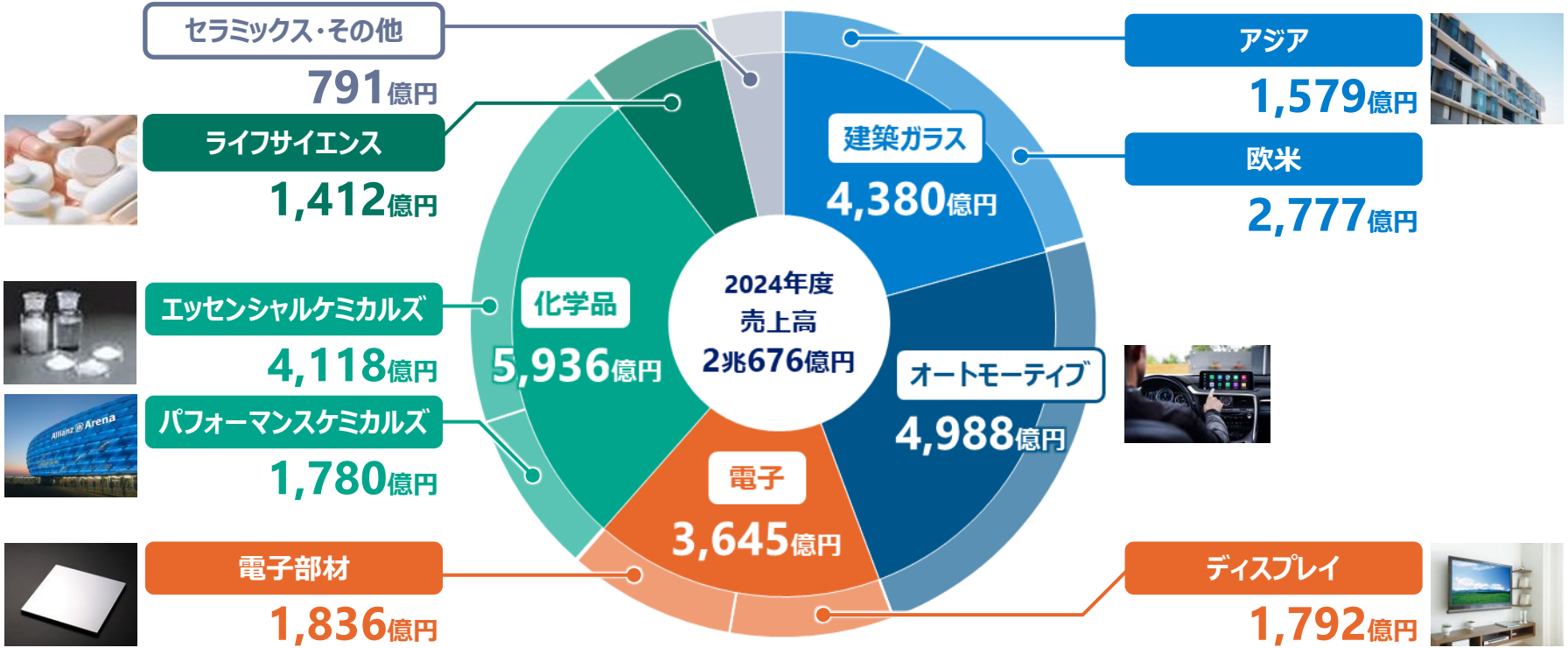
- **Innovation & Operational Excellence**
- **Sustainability for a Blue Planet**
- **One Team with Diversity**
- **Integrity & Trust**

私たちのスピリット

“易きになじまず難きにつく”

©AGC Inc.

事業セグメント展開



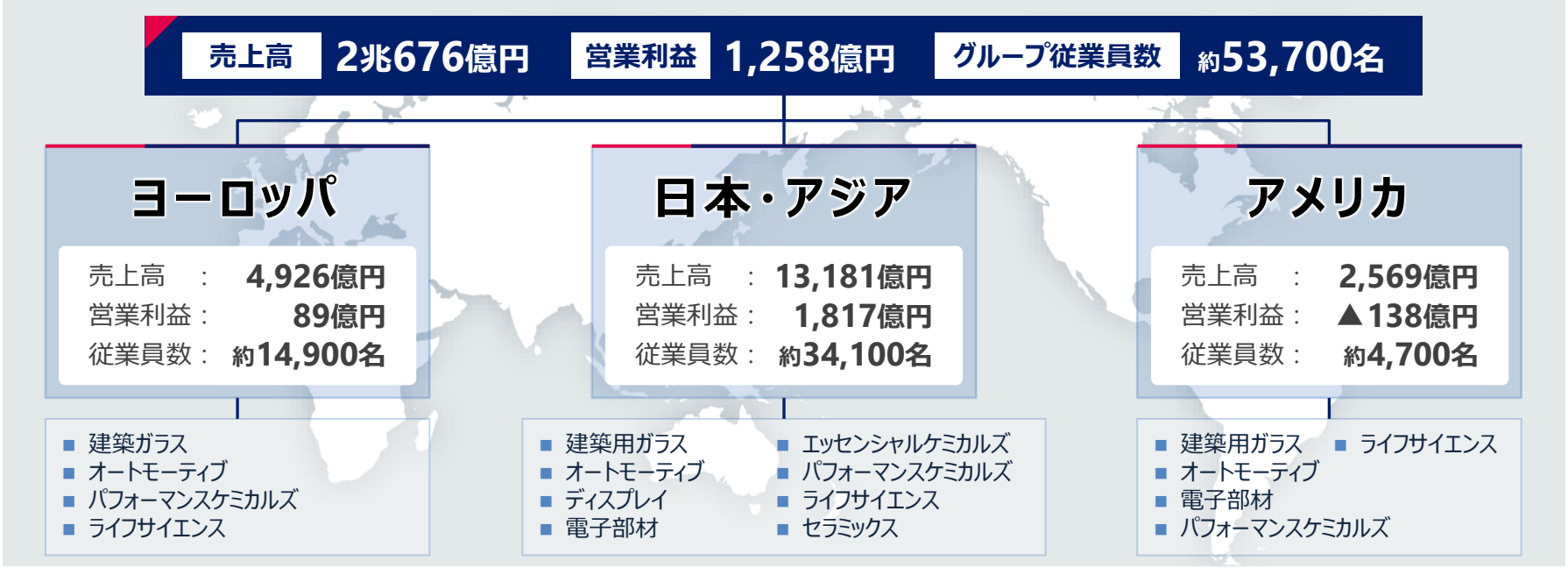
※各セグメントの売上高は消去前の数字であるため、セグメント売上高の合計は全社売上高とは一致しません。また、サブセグメント売上高は、外部顧客に対する売上高を使用しています。

©AGC Inc.

地域セグメント展開

- 30を超える国と地域で事業を展開
- 海外売上高比率は約7割、海外子会社従業員比率は約7割

（2024年12月期）



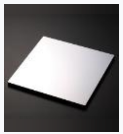
※ アメリカは北米および中南米を含む

※地域別売上及び利益は、消去、地域共通費用控除前の数字であるため、各地域別売上及び利益の合計は全社売上及び利益とは一致しません

©AGC Inc.

世界トップクラスのシェアを持つ主な製品

AGC
Your Dreams, Our Challenge

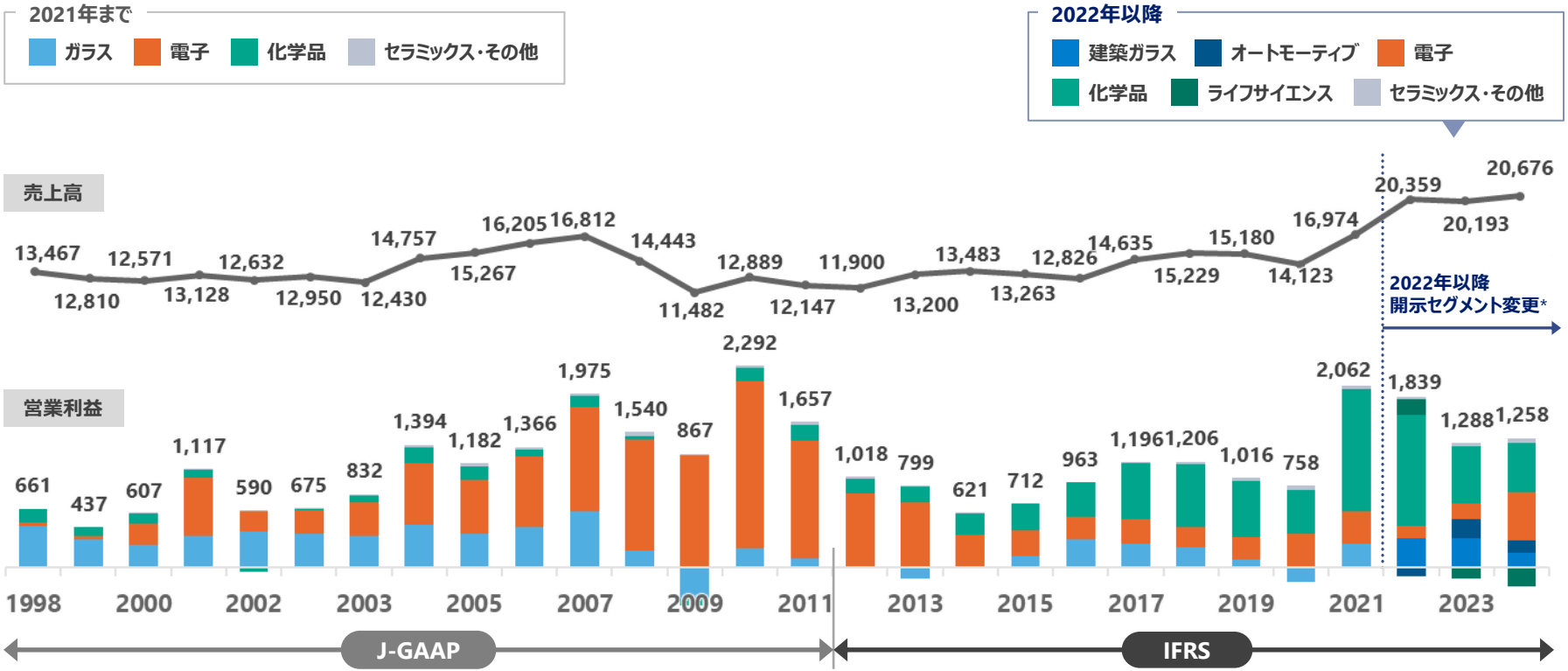
	建築ガラス	オートモーティブ	電子	化学品	ライフサイエンス
コア事業	フロート板ガラス 欧州/日本 等 *1 トップシェア *2	自動車用ガラス 世界 トップシェア *3	TFT液晶/有機EL用ガラス基板 世界 No.2 *3	苛性ソーダ 塩化ビニル樹脂 ◀ 原料となる塩の山 東南アジア No.1 *2	
戦略事業		車載ディスプレイ用カバーガラス 世界 トップシェア *3	 EUV露光用フォトマスクブランクス 世界 No.2 *3	ETFE樹脂（フッ素樹脂） 世界 No.1 *3	Ex vivo 遺伝子治療薬開発・製造受託案件数 世界 No.1 *4

*1：欧州（除くロシア）・南米・東南アジア・日本/当社調べ　*2：生産能力ベース/当社調べ　*3：販売ベース/当社調べ　*4：商用品目数ベース/当社調べ

©AGC Inc.

売上高・営業利益構造の変化

売上高・セグメント別営業利益推移（億円）



*2023年度より報告セグメントを変更したことに伴い、2022年以降は右記セグメントで開示

©AGC Inc.

提供してきた独自の素材・ソリューション

AGC
Your Dreams, Our Challenge

AGCの技術的強み

独自の優位性を持つ材料技術（ガラス、ファインセラミックス、フッ素等）、高機能化を実現する加工技術、ブラックボックス化された製造プロセス、分析・シミュレーション技術

1907年 → 1910年代 → 1950年代 → 1970年代 → 1990年代 → 2000年代 → 2010年代 → 2020年代～

無機（ガラス・セラミックス）

- 建築用ガラス
- 省エネガラス（断熱ガラス・複層ガラス）
- セラミックス（炉材）→（ファインセラ）
- 自動車用ガラス
- TVブラウン管用ガラス
- TFTディスプレイ用ガラス
- 特殊ガラス（石英ガラス・レンズ 等）

複合化

- EUV露光用フォトマスクブランクス
- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- 赤外線吸収ガラスフィルター

有機

- 基礎化学製品（塩ビなど）

- 機能化学製品（フッ素関連製品）
- 医農薬中間体・原体

バイオ

- バイオ医薬CDMO
- 微生物・動物細胞培養
- 遺伝子組換
- バイオプロセス技術

次世代領域

- モビリティ
- 情報通信
- 環境＆エネルギー
- 次世代バイオ

共通基盤技術

生産技術（プラントエンジニアリング、プロセス技術）/ モノづくり力 / 分析技術 / シミュレーション技術 / DX

©AGC Inc.

AGCグループの価値創出スパイラル

AGC
Your Dreams, Our Challenge

- AGCグループは、社会的価値の創出を通じ経済的価値を創出し、企業価値の向上のスパイラルを実現します

©AGC Inc.

AGCグループの提供する社会的価値

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 社会・産業の発展に
貢献することで事業を拡大し、
3つの社会的価値を創出する

Blue planet

**持続可能な
地球環境の実現**

原料の調達からお客様の使用に至るまでの環境負荷を低減することで、すべての生命がよりどころとする地球の持続可能性に貢献します。

省エネガラス
（断熱ガラス・
複層ガラス）

**超断熱
セラミックス**

環境＆エネルギー
（水素関連/蓄電部材）

次世代領域

Innovation

**革新的な
未来社会の創造**

世界最先端技術を支える素材・ソリューションを提供することで、革新的な未来社会の創造に貢献します。

特殊ガラス
（石英ガラス・レンズ 等）

機能化学製品
（フッ素関連製品）

モビリティ
（ADAS/5G）

次世代領域

情報通信
（半導体、光、
高速通信部材）

次世代領域

**TFT
ディスプレイ
用ガラス**

**自動車用
ガラス**

セラミックス
（炉材）

**医農薬原体・
中間体**

苛性ソーダ・塩ビ
（産業・生活インフラ）

建築用ガラス

次世代領域

**次世代
バイオ**

Well-being

**安心安全な
暮らしへの貢献**

生活やインフラ、医療に必要な製品をより安定的に提供することで、安心・安全で快適・健康な暮らしに貢献します。

©AGC Inc.

2. 2030年のありたい姿実現に向けて

事業ポートフォリオ変革

AGC
Your Dreams, Our Challenge

2016年2月に「2025年のありたい姿」を発表

既存事業を「コア事業」、成長事業での新事業群を
「戦略事業」と定義し、両利きの経営を推進

2021年2月に「2030年のありたい姿」を発表

事業ポートフォリオ変革の方向性を明確にし、さらに加速することを宣言

©AGC Inc.

AGCグループの価値創造に向けた中長期の取り組み

AGC
Your Dreams, Our Challenge

2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030

コーポレート・トランスフォーメーション第一章

既存事業を「コア事業」、
成長分野での新事業群を
「戦略事業」と定義し、
両利きの経営を推進

コーポレート・トランスフォーメーション第二章

事業ポートフォリオ改革の
方向性を明確にし、
さらに加速することを宣言

2030年のありたい姿

独自の素材・ソリューションの
提供を通じて**サステナブルな**
社会の実現に貢献するとともに
継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい

©AGC Inc.

AGCグループの両利きの経営

AGC
Your Dreams, Our Challenge

全社戦略

コア事業と戦略事業を両輪として、最適な事業ポートフォリオへの転換を図り、継続的に経済的・社会的価値を創出

コア事業

各事業の競争力を高め、強固で長期安定的な収益基盤を構築

- 建築ガラス
- オートモーティブ（既存）
- ディスプレイ
- エッセンシャルケミカルズ
- セラミックス

戦略事業

高成長分野において、自社の強みを活かし、将来の柱となる高収益事業を創出・拡大

エレクトロニクス

モビリティ

ライフサイエンス

パフォーマンスケミカルズ

*環境・エネルギー、半導体を含むエレクトロニクス、モビリティ、ライフサイエンス 等

©AGC Inc.

3. 中期経営計画 *AGC plus-2026*

- ”両利きの経営”の進化
- サステナビリティ経営の推進
- 価値創造DXの推進
- 経営基盤の強化

©AGC Inc.

2030年のありたい姿実現に向けたステップ

- 「2030年のありたい姿」で掲げた財務目標は堅持
- 株主資本コストを上回る収益性実現に向け、AGC plus-2026の戦略に基づく取り組みを着実に実行し、2027年以降の早期にROE 8%以上の達成を目指す

2024 - 2026 AGC plus-2026

“両利きの経営”の進化

- サステナビリティ経営の深化
- 経営基盤の強化
- 価値創造DXの推進

2026年度目標

営業利益	戦略事業営業利益
2,300億円以上 ➡ 1,800億円以上	50%以上
ROE	**D/E比率**
8%以上 ➡ 7%以上	0.5以下

2027 - 2030年のありたい姿

独自の素材・ソリューションの提供を通じて
サステナブルな社会の実現に
貢献するとともに継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい

営業利益	戦略事業営業利益
3,000億円以上	60%以上
ROE	**D/E比率**
安定的に10%以上	0.5以下

©AGC Inc.

AGC plus-2026 の戦略

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 「2030年のありたい姿」の実現に向けてコーポレート・トランスフォーメーションを加速し、企業価値を最大化

“両利きの経営”の進化	■ 独自の素材・ソリューションを追求した事業ポートフォリオ変革の加速 ■ コア事業は収益基盤とキャッシュ創出力を引き続き強化 ■ 戦略事業の定義を見直すとともに事業成長を加速させ、併せて次世代領域を開拓
サステナビリティ経営の深化	■ 提供する社会的価値を再定義しサステナビリティKPIを設定することにより、財務KPIを含めた統合的な経営を加速
価値創造DXの推進	■ デジタル × モノづくり力による競争力強化 ■ サプライチェーン全体をつなぎ効率化・強化
経営基盤の強化	■ グループガバナンスの強化 ■ 人的資本経営の推進 ■ 事業戦略と技術プラットフォームの連動を更に強化

©AGC Inc.

3. 中期経営計画 *AGC plus-2026*

- **”両利きの経営”の進化**
- サステナビリティ経営の推進
- 価値創造DXの推進
- 経営基盤の強化

©AGC Inc.

事業ポートフォリオ変革の方向性

AGC
Your Dreams, Our Challenge

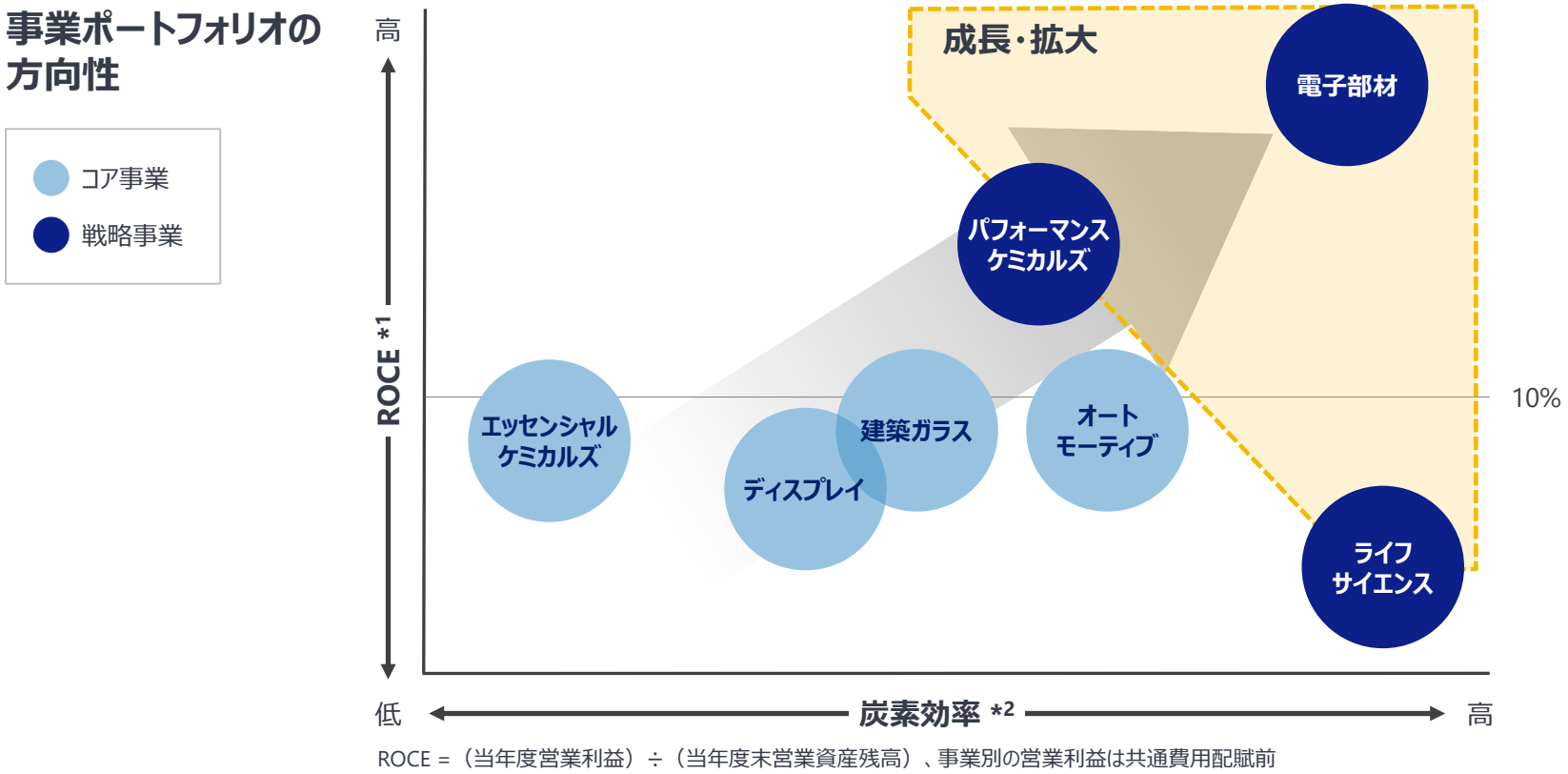
■ 両利きの経営の推進により、市況変動に強く、資産効率・成長性・炭素効率の高い事業ポートフォリオの構築を目指す

©AGC Inc.

事業ポートフォリオ変革の方向性（炭素効率・資産効率）

AGC
Your Dreams, Our Challenge

事業ポートフォリオの方向性



ROCE =（当年度営業利益）÷（当年度末営業資産残高）、事業別の営業利益は共通費用配賦前

*1：2024年ROCEをもとに作成　*2：2024年売上高あたりの2023年排出量をもとに作成

©AGC Inc.

各事業の戦略概要

AGC
Your Dreams, Our Challenge

	事業	戦略概要
戦略事業	エレクトロニクス	■ EUVマスクブランクスを始めとする高付加価値製品の拡大 ■ 継続的に新ビジネスを創出
	ライフサイエンス	■ 米国バイオ医薬品CDMO事業を早期に再建 ■ グローバル展開・技術対応力の強みを活かし、成長軌道へ戻す
	モビリティ	■ CASEによる市場変化を見据え、事業機会を確実に捉える
	パフォーマンスケミカルズ	■ 半導体を含むエレクトロニクス、環境・エネルギー領域への高機能素材提供 ■ 高付加価値化と事業領域拡大で、グローバルニッチ市場の需要を取り込む
コア事業	建築ガラス	■ GHG削減等の社会課題解決につながる製品・技術を強化し、安定的にキャッシュを創出
	オートモーティブ	■ 価格政策、構造改革、高機能化・高付加価値化の継続により、収益性・効率性を向上
	ディスプレイ	■ 事業構造改革、技術革新による競争力強化、価格政策の見直しにより、収益性・資産効率を改善
	エッセンシャルケミカルズ	■ 成長市場である東南アジアへの地域集中戦略の継続・強化

©AGC Inc.

AGC plus-2026 現在の状況

AGC
Your Dreams, Our Challenge

	コア事業		戦略事業	
ありたい姿	強固で長期安定的な収益基盤		高収益事業を創出・拡大	
現状認識	ディスプレイ	構造改革により**収益性は順調に改善**	ライフサイエンス	**バイオ医薬品CDMOの収益改善中**
	エッセンシャルケミカルズ	**市況低迷の影響**継続	パフォーマンスケミカルズ	**成長施策実施により売上伸長**
	オートモーティブ	北米は生産トラブル発生するも、**収益は順調に改善**	エレクトロニクス	半導体市場の伸びにより計画通り**伸長**
	建築ガラス	ロシア事業撤退や、欧州および東南アジアの**景気低迷の影響**が継続	モビリティ	事業規模は限定的も着実に**伸長**

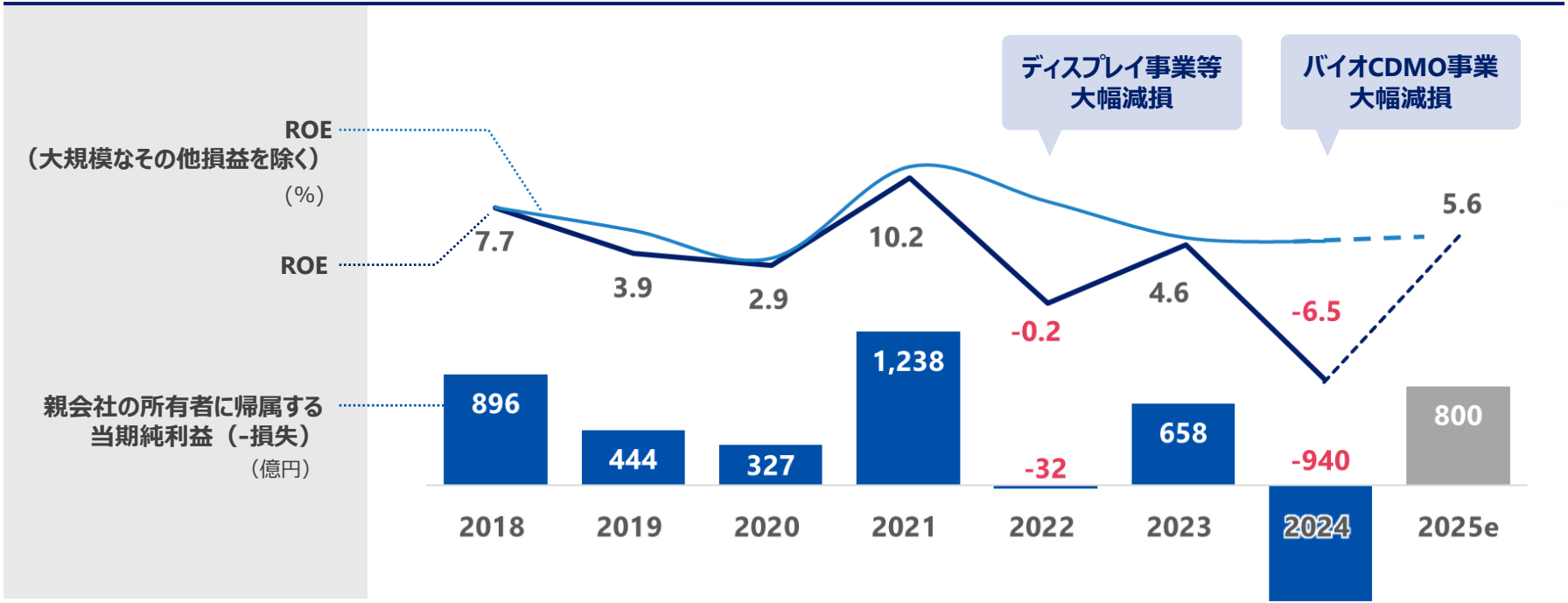
課題

- **ROEが低位で推移、結果としてPBRが1倍を下回る**

©AGC Inc.

ROEの現状

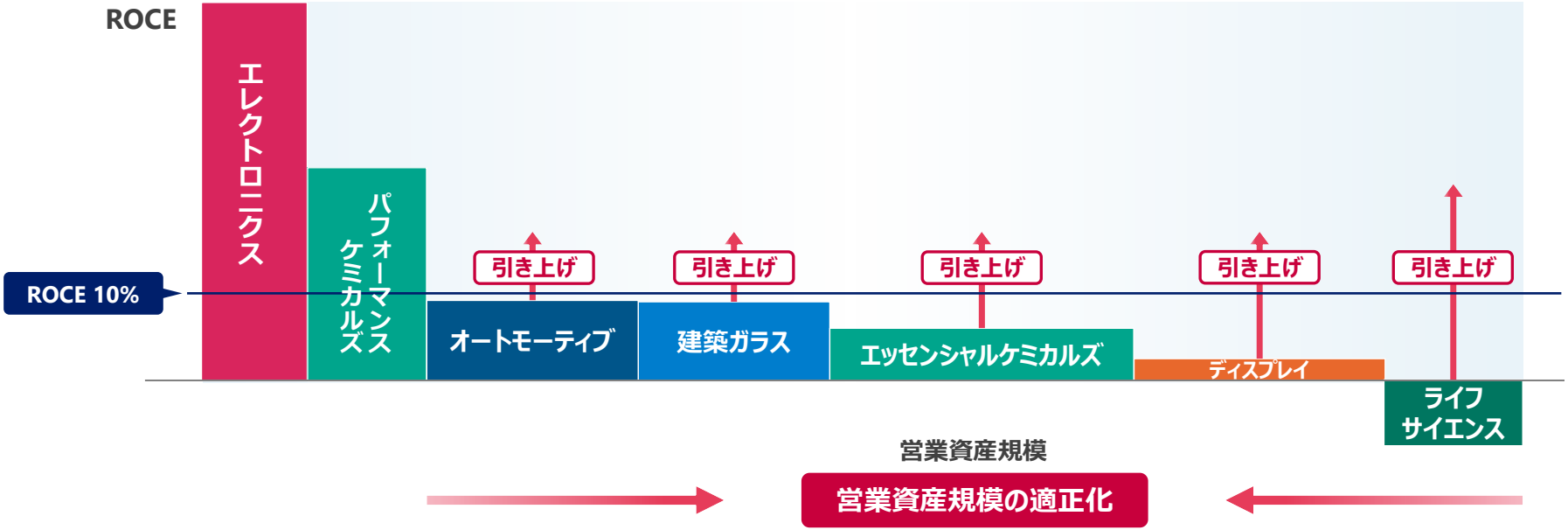
■ 「減損損失」や「事業譲渡に伴う損失」等の発生もあり、ROEが低レベルで推移



ROCEの現状

- 資産規模の大きい低収益事業が全社ROCEを引き下げ
- これらの事業の収益力向上と資産効率改善が喫緊の課題

2024年　事業別ROCE(共通費配賦前)・営業資産イメージ図



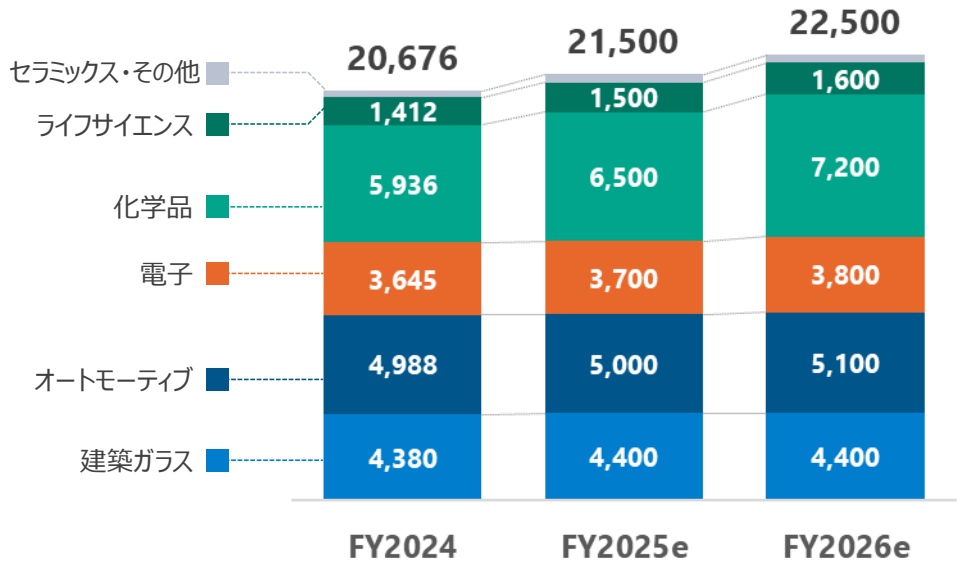
ROCE =（当年度営業利益）÷（当年度末営業資産残高）、事業別の営業利益は共通費用配賦前

©AGC Inc.

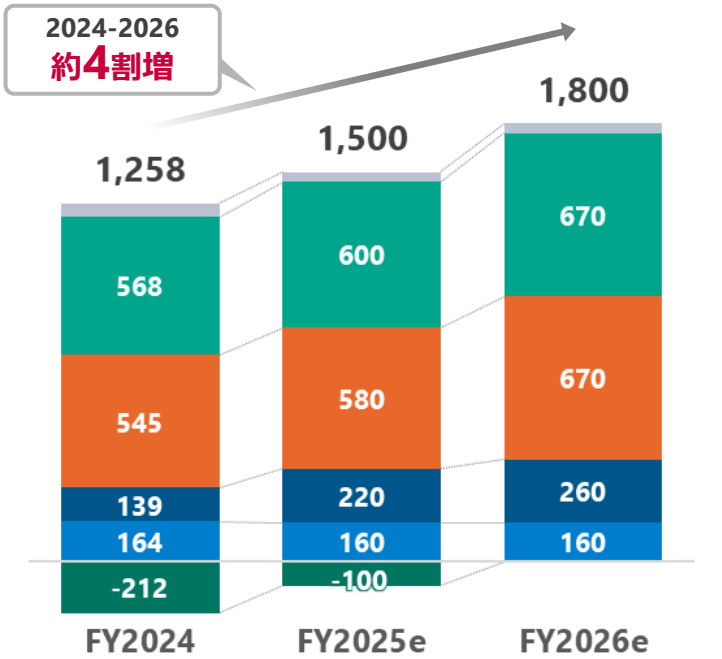
AGC plus-2026 セグメント別 業績イメージ

- 2026年の営業利益は2024年対比で4割増加
- ライフサイエンスは2026年に黒字転換

売上高（億円）



営業利益（億円）

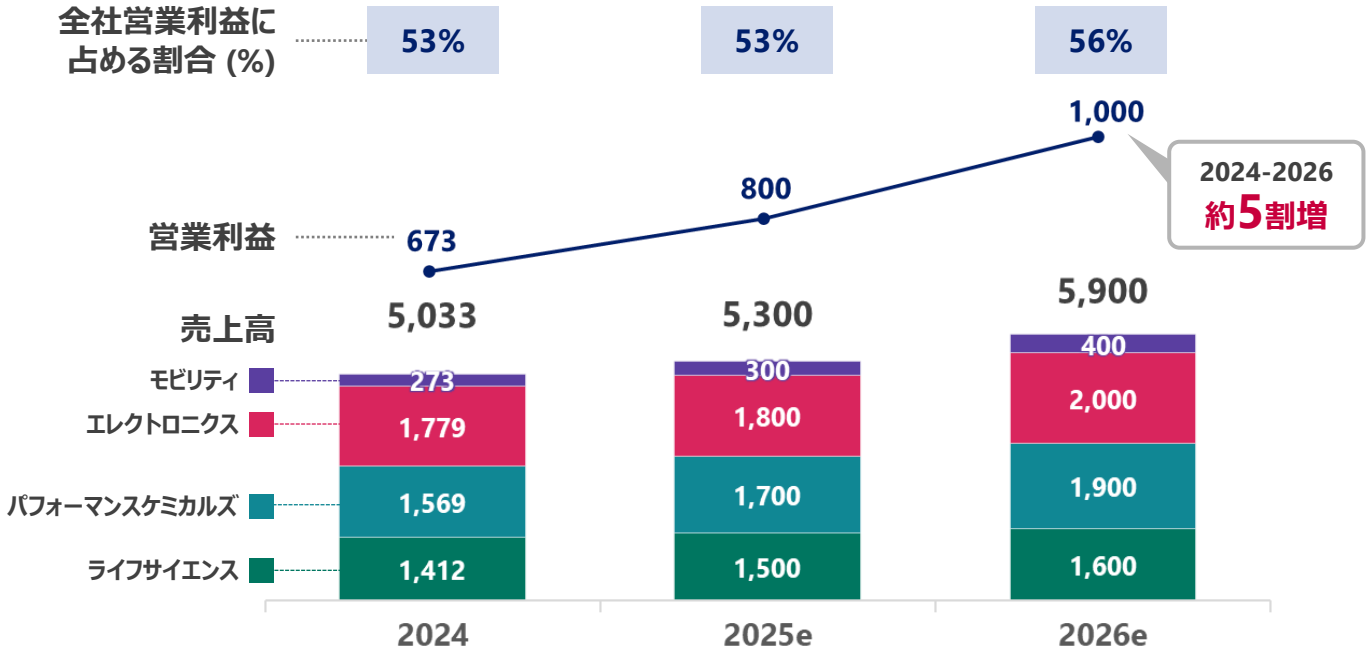


©AGC Inc.

戦略事業　業績見通し

■ 戦略事業が全体成長を牽引

戦略事業 売上高・営業利益 推移（億円）



主な製品・事業

モビリティ
- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス
- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

パフォーマンスケミカルズ
- 多業界向け高機能フッ素製品

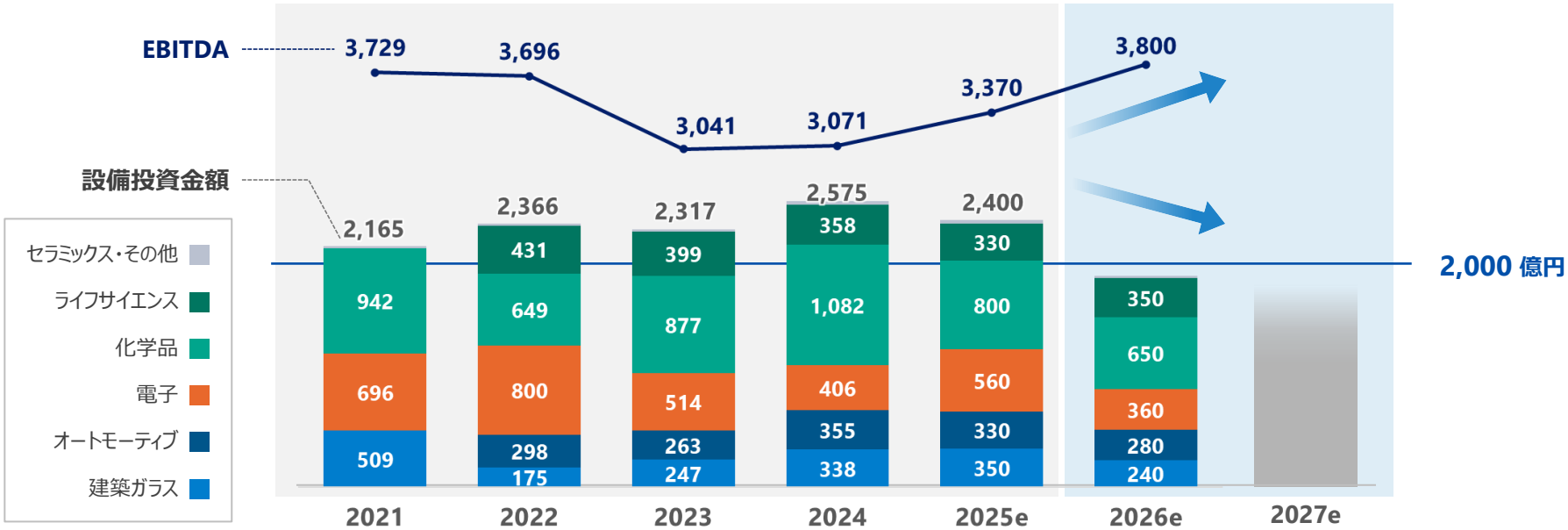
ライフサイエンス
- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

©AGC Inc.

設備投資とEBITDA

- 2025年で大規模な能力拡大投資は一巡
- 2026年以降はキャッシュ創出に注力し、次の成長に備える

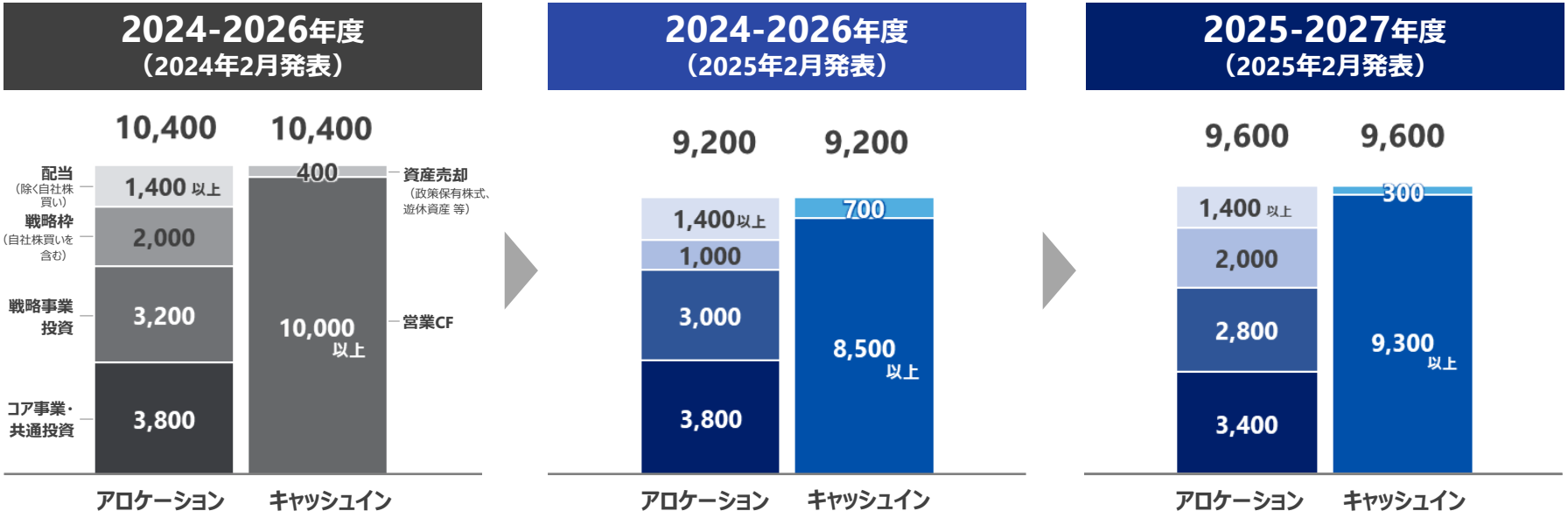
設備投資金額とEBITDAの見通し（億円）



キャピタルアロケーションの方針

- 2024-2026年は原資減少により戦略枠縮小も、2025-2027年は業績回復と投資抑制により戦略枠を確保
- 自社株買いについては、投資案件やキャッシュの状況などを総合的に勘案し判断

（億円）

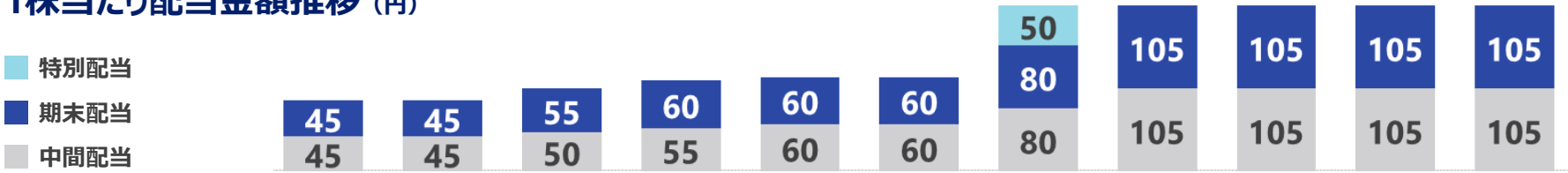


©AGC Inc.

株主還元

- 株主資本配当率3%程度を目安に安定配当する株主還元方針は変わらず
- 2025年の一株当たり配当金額は2024年の水準を維持予定

1株当たり配当金額推移 (円)



	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025e
自己株取得 (億円)	–	**100**	**150**	**200**	–	–	–	–	**500**	–	未定
連結総還元性向	**48%**	**65%**	**56%**	**51%**	**60%**	81%	38%	–	144%	–	56%
連結配当性向	48%	44%	35%	29%	60%	**81%**	**38%**	–	**69%**	–	56%
株主資本配当率(DOE)	1.9%	1.9%	2.1%	2.2%	2.3%	2.3%	3.8%	3.4%	3.2%	**3.1%**	**3.1%**

株主還元方針

総還元性向**50%**以上、機動的に自己株取得

連結配当性向 **40%を目安に安定配当**、機動的に自己株取得

株主資本配当率 **3% 程度を目安に安定配当、自己株取得は総合的に判断**

* AGCは2017年7月1日付で普通株式5株を1株に併合。これに伴い、1株当たり情報を再算定。

©AGC Inc.

3. 中期経営計画 *AGC plus-2026*

- ”両利きの経営”の進化
- **サステナビリティ経営の推進**
- 価値創造DXの推進
- 経営基盤の強化

©AGC Inc.

サステナビリティKPI

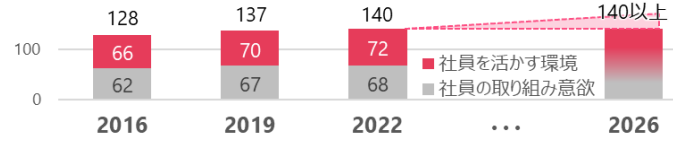
AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 事業活動を通じたサステナビリティKPIの向上により、持続的な成長を実現する

サステナビリティ KPI

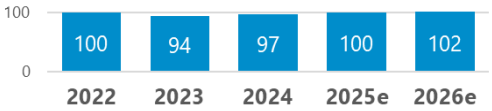
GHG(Scope1+2)排出量[万トン]*1

従業員エンゲージメントスコア*1

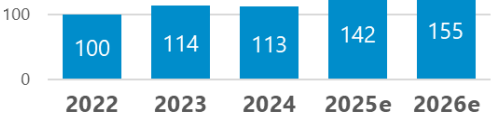


Blue planet

建築用GHG削減貢献製品 出荷数量 指数*2

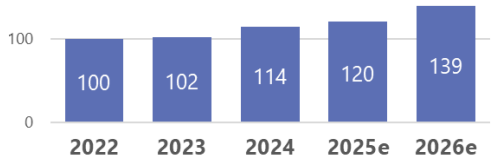


化学品低GWP製品 GHG排出削減貢献 指数*2



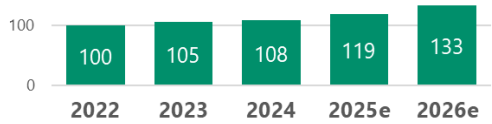
Innovation

次世代型社会への貢献（エレクトロニクス、モビリティ、パフォーマンスケミカルズ）合計売上高 指数*2

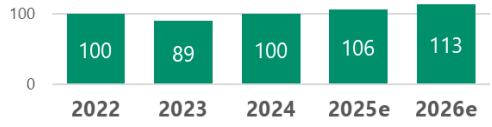


Well-being

新興国社会インフラ整備貢献製品（クロールアルカリ主製品）出荷数量指数*2



ライフサイエンス売上高 指数*2



*1 役員報酬に反映される項目。ただし、GHG排出量についてはGHG排出量売上高原単位を役員報酬の算定に用いる *2 指数：2022年を100として2023年以降の数値を換算

©AGC Inc.

⚠ リスクに対応 カーボン・ネットゼロ目標（2050年）

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 2021年に中長期のGHG削減目標を策定し、着実に推進

2030年マイルストーン*（2019年比）

Scope 1	GHG排出量（Scope 1+2排出量）	30% 削減
Scope 2	GHG排出量売上高原単位（Scope 1+2排出量／売上高）	50% 削減
Scope 3	GHG排出量（Scope 3排出量のうち、カテゴリ1、10、11、12の合計）	30% 削減

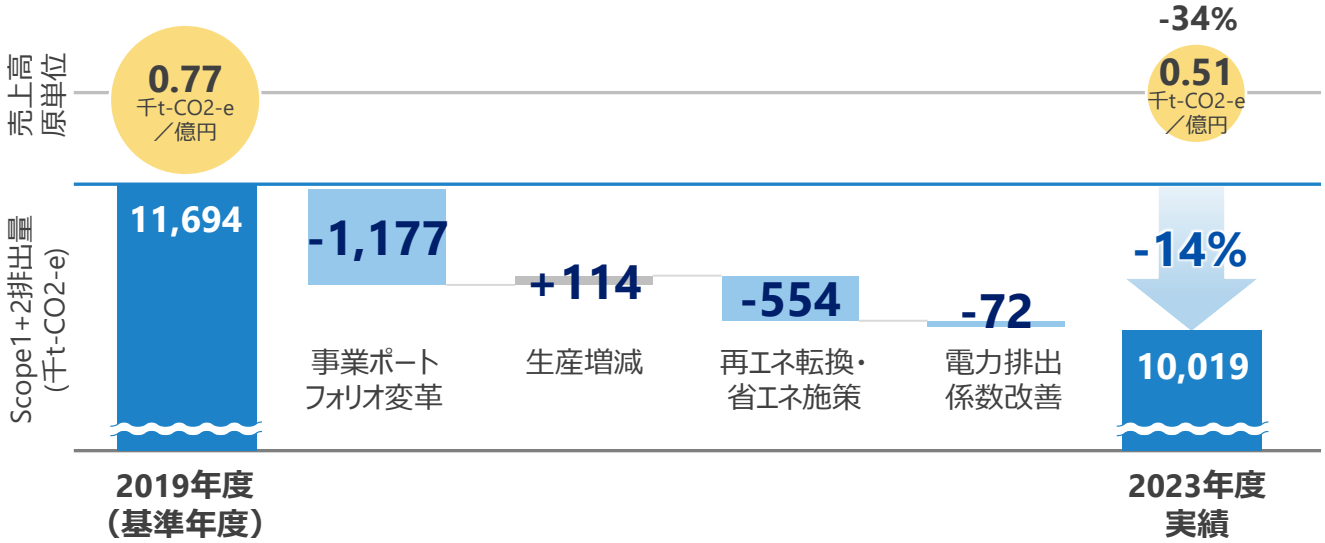
*2030年の電力CO_2排出係数はIEAが公表した持続可能な開発シナリオ（SDS）を踏まえて設定した数値を用いています。

©AGC Inc.

⚠ リスクに対応 GHG排出量削減 実績（Scope1+2）

- 2023年実績は19年比14%削減と、2030年マイルストーンに対しほぼ計画通りに進行
- マイルストーン達成に向け、ガラス溶解プロセスの技術革新・クロールアルカリ事業の電力源の再生可能エネルギーへの転換・自家火力発電でのバイオマス燃料活用等に取り組む

Scope1+2排出量および売上高原単位削減実績 (2019-2023)

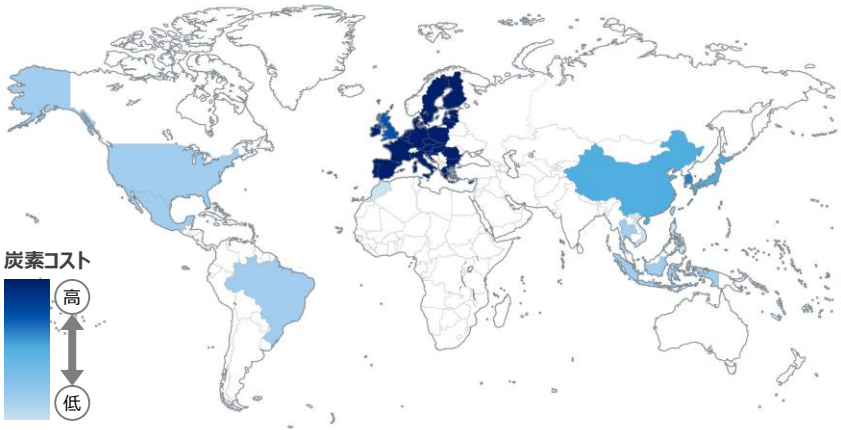


炭素コストを意識したGHG排出量削減戦略

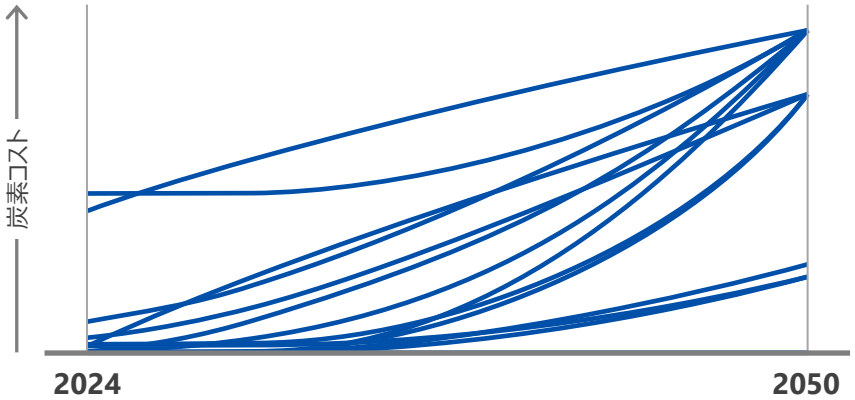
AGC
Your Dreams, Our Challenge

- インターナルカーボンプライシング制度*の見直しを実施
  - 気候変動における炭素コストに各国・地域の政策状況を反映し、地域軸と時間軸で将来の炭素コストを算出
  - 社会的価値と経済的価値を考慮し、投資判断に生かす

地域軸 **地域ごとの炭素コスト予測（2030年）**



時間軸 **地域ごとの炭素コスト推移予測**



*2022年よりグローバルに展開

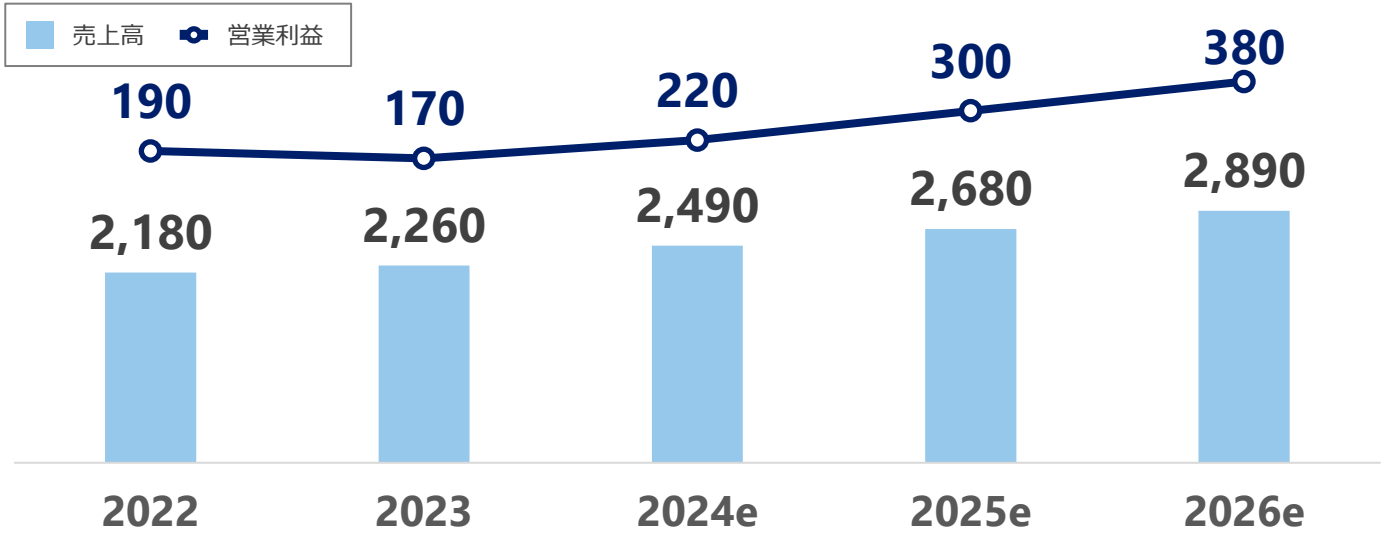
©AGC Inc.

環境・エネルギー分野に貢献する製品 売上高・営業利益

- 環境・エネルギー分野に貢献する製品の売上高はグループ全体の約１割
- 今後も市場拡大の機会を捉えながら、AGCグループの技術力を生かし、更なるGHG排出量削減への貢献と事業成長を目指す

環境・エネルギー分野に貢献する製品の業績貢献イメージ

（億円）



*共通費配賦前ベース

©AGC Inc.

3. 中期経営計画 *AGC plus-2026*

- ”両利きの経営”の進化
- サステナビリティ経営の推進
- **価値創造DXの推進**
- 経営基盤の強化

©AGC Inc.

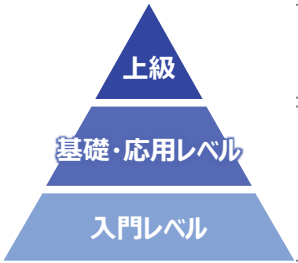
価値創造DXの推進

- 2017年以降に培ってきたデジタル技術と、AGCの強みであるモノづくり力の融合により各事業の競争力を高める

©AGC Inc.

価値創造DXの推進

デジタル人財育成（データサイエンティスト）



	2020年	2024年末	2020年に設定した2025年目標
上級	39名	**95名**	100名
基礎・応用レベル	1,735名	**5,900名**	5,000名

※グローバル累計
※1年前倒しで達成

業務改革・効率化
(独自生成AI基盤ChatAGC)

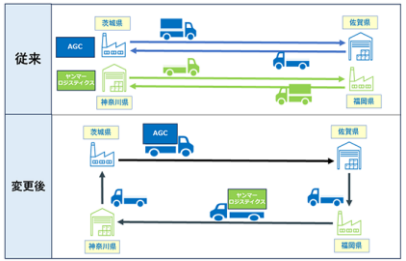
ChatAGC

RAG (検索拡張生成) 機能を追加してグローバル活用

業務削減：約11万時間 (2024年推計)

社会への価値提供（物流DXの事例）

複数の企業と連携し、物流危機に対応する**共同輸送の取組み**を開始



お客様への価値提供

びんガラス製造窯向けに、AGCのデジタル技術と製造ノウハウを基にした支援サービスを開始

DX銘柄に選定
（3年連続4回目）

DX銘柄2022
Digital Transformation

DX銘柄2023
Digital Transformation

DX銘柄2024
Digital Transformation

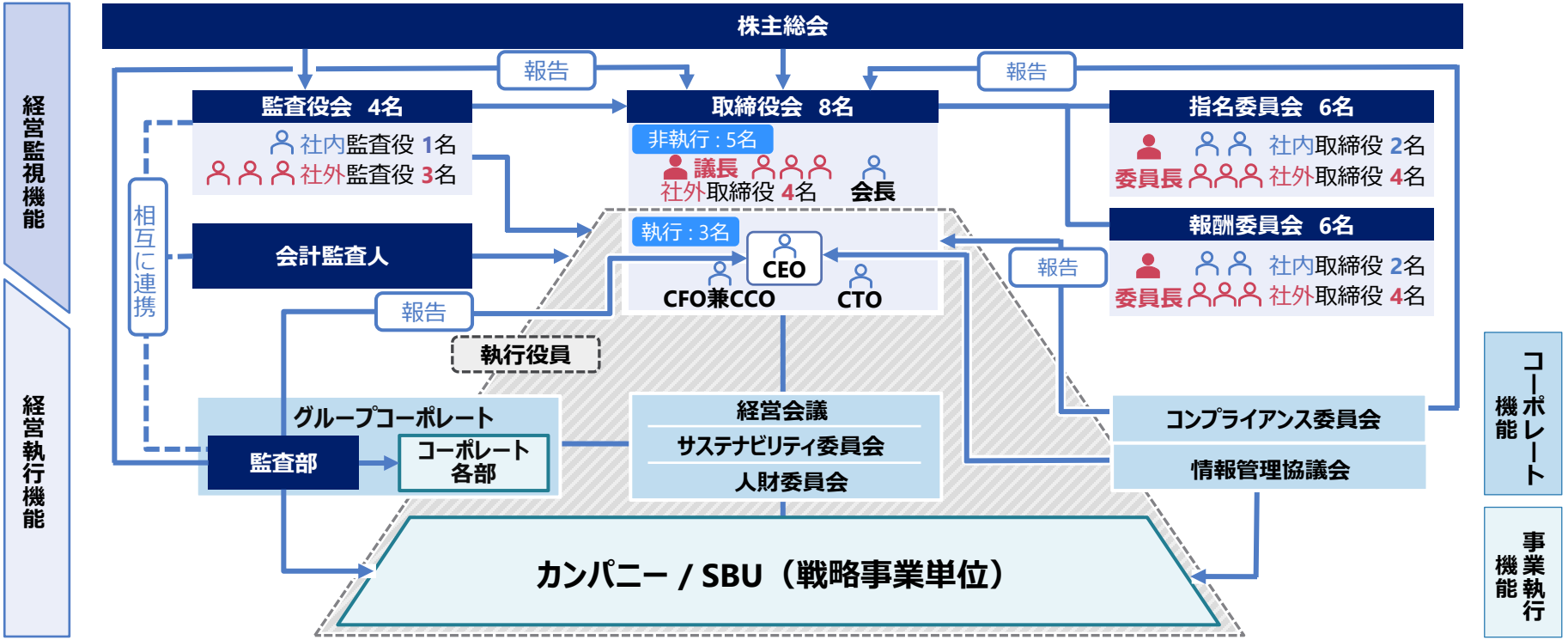
3. 中期経営計画 *AGC plus-2026*

- ”両利きの経営”の進化
- サステナビリティ経営の推進
- 価値創造DXの推進
- **経営基盤の強化**

©AGC Inc.

コーポレートガバナンス体制

：社内出身の取締役又は監査役　：独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



人的資本経営の推進

人財のAGC

- 風通しの良さ・チャレンジ・主体性を重視する企業文化をより一層醸成・浸透させ、多様な人財の強み・個性を引き出し、主体的な学びと成長を支援する
- 成長する個々人からなるエンゲージメントの高い組織が、社内外の連携も活用して、知の化学反応と現場力の強化を促進し、企業価値を向上させる

付属資料

財務指標

		IFRS				
		20/12	21/12	22/12	23/12	24/12
売上高	百万円	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254	2,067,603
営業利益	百万円	75,780	206,168	183,942	128,779	125,835
営業利益率	%	5.4	12.1	9.0	6.4	6.1
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	32,715	123,840	▲ 3,152	65,798	▲ 94,042
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	2.9	10.2	▲ 0.2	4.6	▲ 6.5
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	3.1	7.9	6.7	4.5	4.3
自己資本比率	%	44	49	49	49	50
D/E（有利子負債･純資産比率）	倍	0.63	0.41	0.41	0.42	0.39
営業CF / 有利子負債	倍	0.29	0.54	0.33	0.31	0.44
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	147.84	559.11	▲ 14.22	304.73	▲ 443.71
一株当たり配当金	円/年	120	210	210	210	210
EBITDA *3	百万円	208,459	383,226	253,209	315,965	147,842
為替レート（期中平均）	円/ドル	106.82	109.80	131.43	140.56	151.58
	円/ユーロ	121.81	129.89	138.04	152.00	163.95

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計（期中平均）
*2 営業利益/総資産（期中平均）
*3 EBITDA（支払利息･税金･減価償却費控除前利益）＝税引前利益＋減価償却費＋支払利息

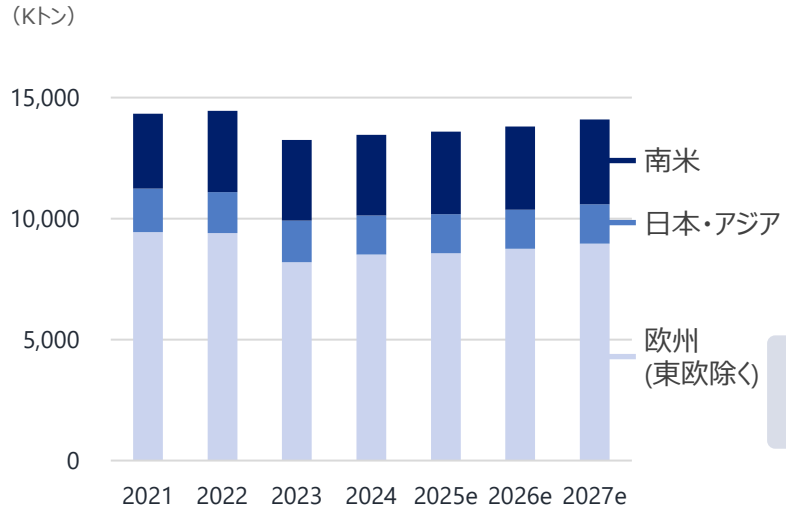
その他の財務指標についてはこちらを参照ください https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

©AGC Inc.

建築ガラス　事業環境

- 環境対応が求められる中、**リノベーション需要・環境貢献製品需要が増加**
- 省エネ・創エネにつながる高付加価値製品に注力し、景気変動の影響を受けにくい事業体質の構築を目指す

建築用ガラス需要見通し*1



環境貢献製品（例）

ウォームエッジ
高断熱複層ガラス

真空断熱ガラス

建材一体型太陽光
発電モジュール*2

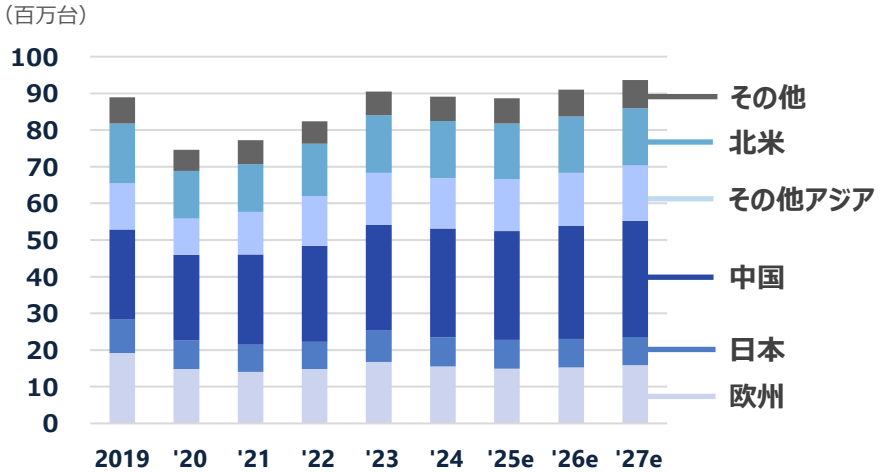
*1：AGC推定（当社が展開する事業地域のみを記載）　*2：シンガポール工科大学に採用予定の太陽光発電ガラス

©AGC Inc.

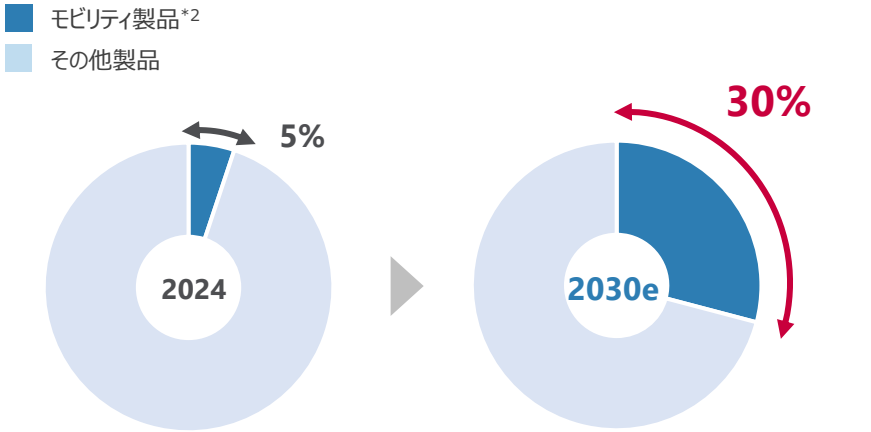
オートモーティブ　事業環境

- 価格政策の見直し、生産体制の再編、設備の高効率化、DXの推進により、損益分岐点を引き下げ、市況変動に強い体質を作る
- CASE関連など高付加価値品比率を高め、収益性を向上

グローバル自動車生産台数 推移*1



当社 高付加価値品比率の推移



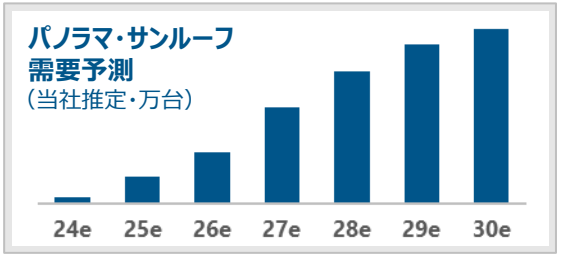
*1：S&P Globalデータを元に作成 *2：車載ディスプレイ用ガラス、センサー、アンテナ、Low-e、調光など付加価値を付けた商品

©AGC Inc.

モビリティ　主要製品（1）

AGC
Your Dreams, Our Challenge

- EV化の拡大に伴い、従来の高付加価値品*に加えて、**断熱ガラス・調光ガラスを活用したサンルーフや遮音ガラス**などの需要拡大が見込まれる
- サンルーフは欧州・中国を中心に需要拡大の見通し



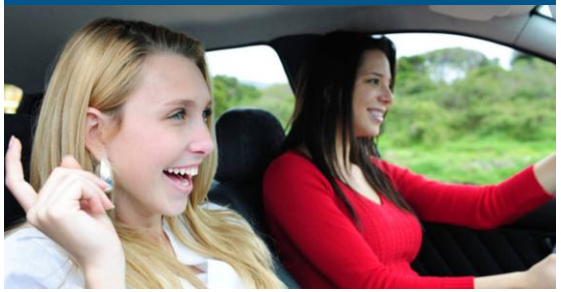
Low-eガラス

ガラスに特殊な金属コーティングを施し、夏は日射熱を遮り、冬は熱を逃しづらく。EVの航続距離延長やCO_2排出量低減に寄与。

調光ガラス

2枚のガラスの間に特殊なフィルムを挟み、光の透過を自在にコントロール。心地よい光が降り注ぐ車内空間を実現。

遮音ガラス



2枚のガラスの間に特殊な遮音膜を挟み、車外の騒音を軽減。ガラスの重み（厚さ）を増加することなく、快適な車内を実現。

* 赤外線カット、HUD等　付加機能・価値を付した商品

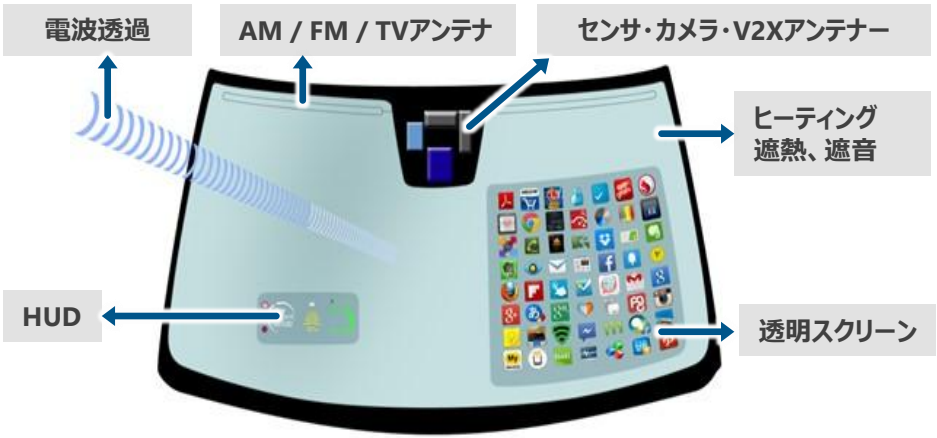
モビリティ　主要製品 (2)

AGC
Your Dreams, Our Challenge

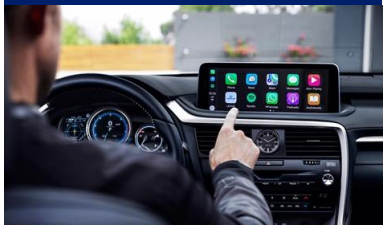
- CASEによる市場変化を見据え、**事業機会を確実に捉える**
- **車載ディスプレイ用ガラス**は欧州系高級車を中心に100車種以上で採用

ガラスのディスプレイ化や通信機能付加などにより素材だけでなくソリューションまで提供

自動車用ガラス



車載ディスプレイ用カバーガラス



2019年発売のLEXUS「RX」などに採用されており、
世界シェア No.1

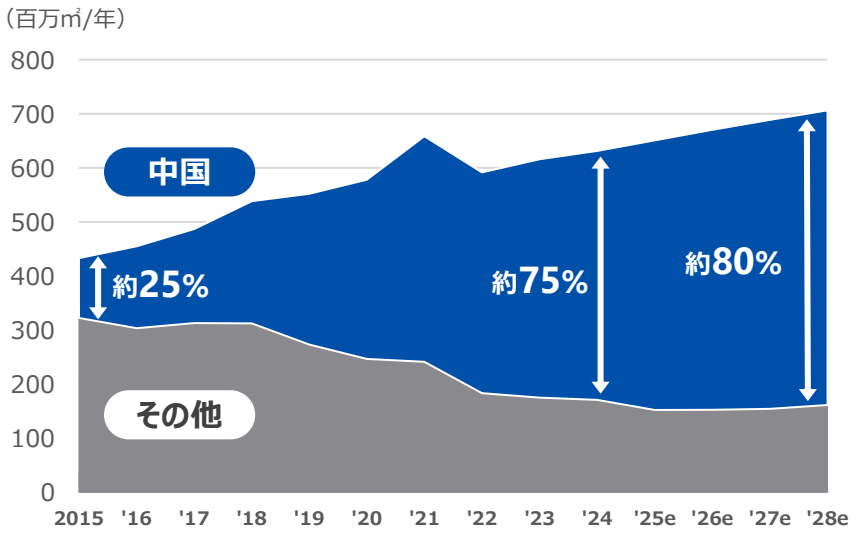
次世代自動車用ガラスアンテナ

NTTドコモ、エリクソンと共同で
「ガラス一体型5Gアンテナ」
による5G通信に成功

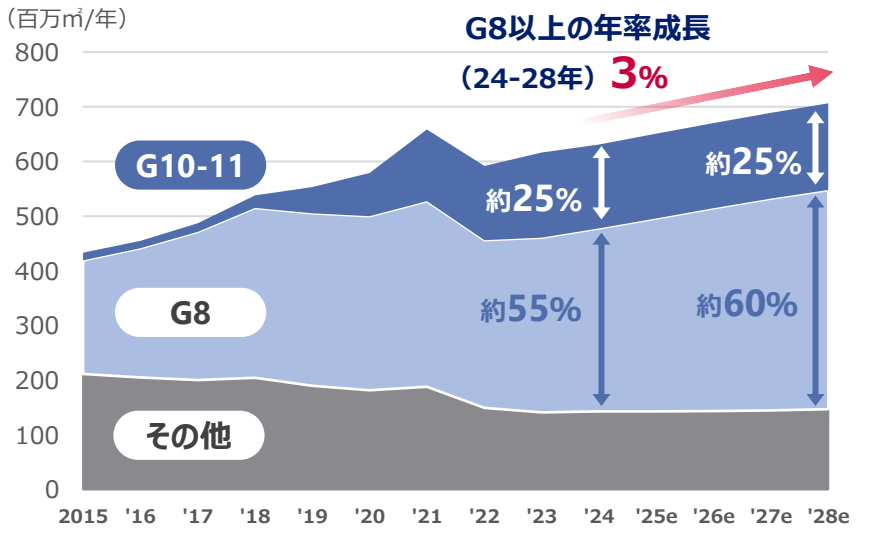
ディスプレイ　事業環境

- 今後も**中国での需要は更に拡大**
- **画面サイズの大型化等に伴いG8及びG11需要が伸長**

液晶用ガラス需要推移（地域別）



液晶用ガラス需要推移（世代別）



出典：AGC推定

G8：55インチ×6枚分　G10：60インチx8枚分　G11：65インチx8枚分または75インチX6枚分

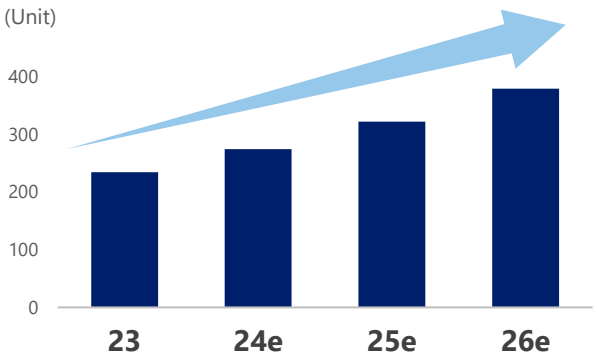
©AGC Inc.

エレクトロニクス　事業環境

EUV露光用フォトマスクブランクス

- EUV露光は、ロジックに加えメモリーでも採用が増加
- 今後も最先端半導体の需要増に伴い、EUV露光機の台数は中長期的に増加が見込まれる

EUV露光装置累積台数　推移*

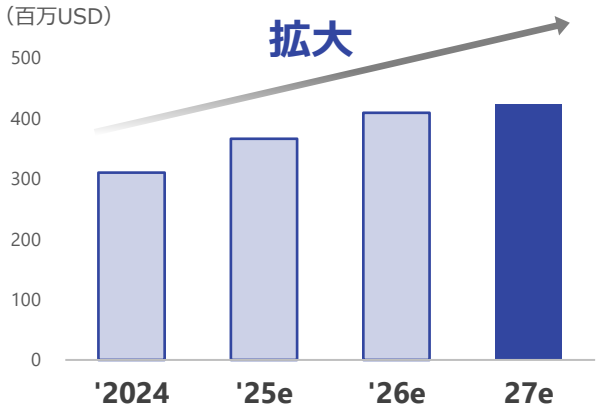


* 出典：ASML社資料およびAGC推定

CMPスラリー

23年は停滞したものの、先端ノードに加え、現行ノードへの積極的な増産投資が予定されており中長期的にはセリアスラリーの市場は拡大

セリアスラリー市場

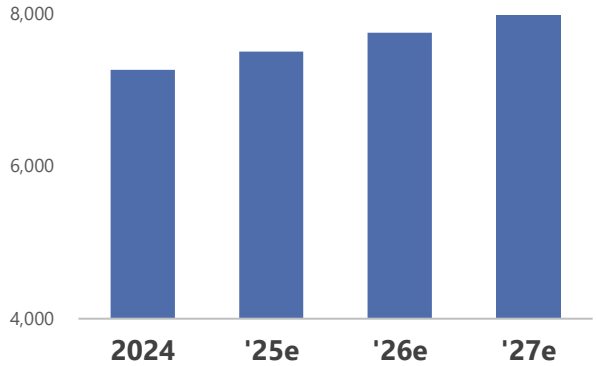


出典：AGC推定

オプトエレクトロニクス用部材

中長期的にはスマホ市場の成長により、スマホの搭載カメラ総数は増加

カメラ用イメージセンサー個数



出典：AGC推定

エッセンシャルケミカルズ　主要製品

- クロールアルカリ製品である苛性ソーダ・塩化ビニル樹脂（PVC）・エピクロロヒドリンは、成長市場である東南アジアにおいてトップシェアを持つ
- ポリオールや変成シリコーンなど、ウレタン関連製品も展開

苛性ソーダ

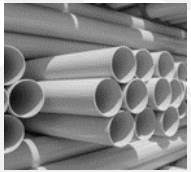
東南アジア No.1*

原料となる塩の山

主な用途：化学繊維、紙・パルプ

塩化ビニル樹脂

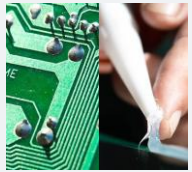
東南アジア No.1*



主な用途：水道管、電線

エピクロロヒドリン

東南アジア No.1



主な用途：接着剤、塗料、電子材料

重曹

主な用途：医薬品、入浴剤、ふくらし粉

ポリオール

主な用途：ウレタンフォーム、エラストマー、接着剤

変成シリコーン

主な用途：シーリング材、接着剤

*2025年1月時点当社推定（生産能力ベース）

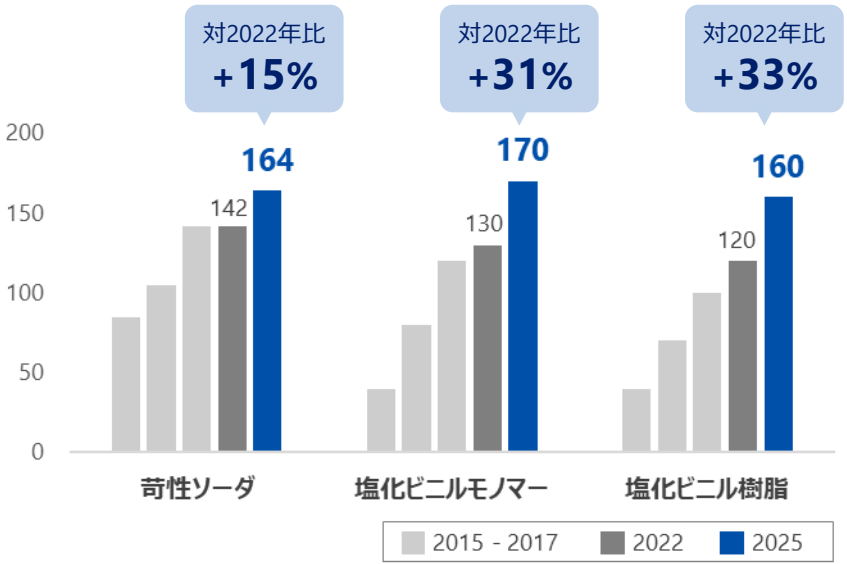
©AGC Inc.

エッセンシャルケミカルズ　事業環境

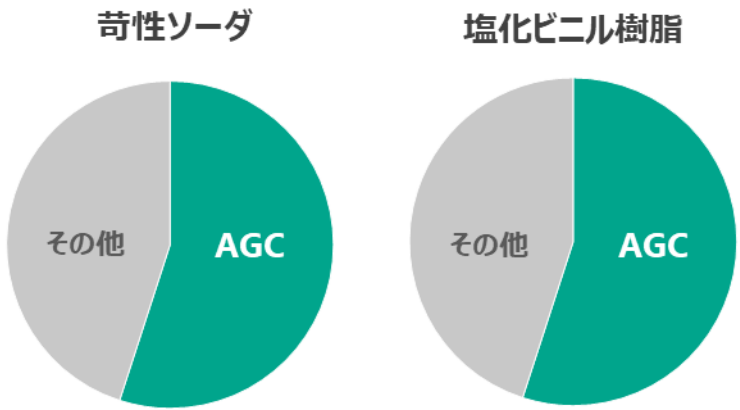
■ 現在建設中のタイのプラント増強により、東南アジアでの当社ポジションは更に上昇

東南アジアクロールアルカリ生産能力 推移

（単位：万トン）



東南アジアにおけるシェア*（増設後）



*生産能力ベースシェア
（苛性ソーダは域内に豪州／NZを含まず、塩ビは域内に豪州／NZを含む）

©AGC Inc.

パフォーマンスケミカルズ　主要製品

- 売上高のほとんどをフッ素製品が占め、グローバルトップシェアの製品を多く持つ
- 脱炭素社会やデジタル社会を実現するためには欠かせない素材

ETFE樹脂（フッ素樹脂）

世界 No.1*

主な用途：電線、チューブ、ライニング・コーティング材

ETFEフイルム

主な用途：膜建築物・エレクトロニクス用離形フィルム

燃料電池用フッ素系電解質ポリマー

世界 No.1

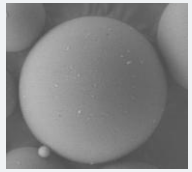
クロアリ電解用イオン交換膜

世界 No.1

現場塗装塗料用フッ素樹脂

世界 No.1*

ファインシリカ



主な用途：化粧品、分析機器、電子材料、塗料

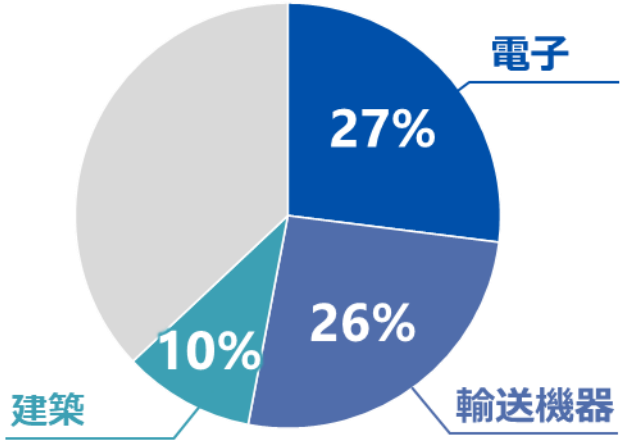
*1 2025年1月時点当社推定（販売ベース）

©AGC Inc.

パフォーマンスケミカルズ　需要分野

- フッ素製品の需要の約6割は、
  主用途である電子、自動車・航空機などの輸送機器、建築分野
- 残りは多様且つ特殊な分野の需要の積み上げから成り立っている

用途別売上高比率（2023年）



©AGC Inc.

PFASと規制

- PFAS (約12,000種類のフッ素化合物の総称) のうち 3物質がストックホルム条約において残留性有機汚染物質に指定されており、現在AGCではいずれの当該指定物質も取り扱っていない
- AGCグループとして企業の社会的責任を果たすため、科学的根拠に基づき、事業活動で生じる環境負荷の最小化と製品を通じた環境課題の解決に向け取り組んでいる

AGCの主な製品

フッ素ポリマー

フッ素化学品業界*の評価により、「危険性、環境や人体への影響は低い」という結果が示されている

イオン交換膜

フッ素樹脂

医農薬原体・中間体

各国・地域の医薬・農薬関連法令により安全性が評価・監督されている

医薬品

農薬

指定物質

PFOS	製造・販売**実績なし**
PFOA	規制に先駆け**全廃**
PFHxS	製造・販売**実績なし**

* 出典: A critical review of the application of polymer of low concern regulatory criteria to fluoropolymers II: Fluoroplastics and fluoroelastomers

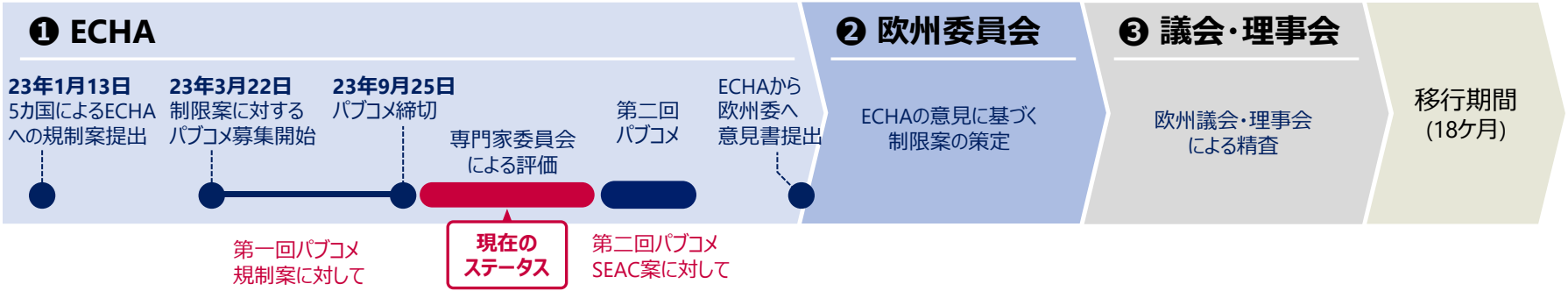
©AGC Inc.

欧州のPFAS規制動向

- 現在規制案についてECHA(欧州化学品庁)の専門委員会が検討中
- 多くのパブリックコメント (パブコメ) が寄せられ、ECHAの専門家委員会による法案の評価プロセスに時間を要しており、第二回のパブコメ募集時期および、その後の規制スケジュールは不透明
- AGCグループも第一回のパブリックコメントを提出した

欧州における規制検討プロセスの流れ

❶ ECHAによる2回のパブコメを経て、専門家委員会が最終意見を作成/提出
❷ 欧州委員会は提出された最終意見を基に法案作成、加盟国で構成のREACH委員会で審議/採択
❸ 採択された法案は欧州議会・理事会による精査を経て発効



ライフサイエンス　強み

■ 医薬品の開発フェーズの移行とともに変化する生産規模への多様なニーズに対応

合成医薬品	開発初期の少量製造に適したパイロット設備から、商用向けの大型反応器まで保有
バイオ医薬品	小～中規模までフレシブルな生産が可能な**SUB**を他社に先駆けて導入し、 業界トップクラスの生産能力*を有する。2020年には**大型SUS**も導入し、商用向けの大規模製造にも対応

バイオ医薬品製造に用いられる培養槽

バイオ医薬品製造に用いられる主な培養槽は**「SUB」**と**「大型SUS」**

SUB（シングルユースバック）

使い捨て容器を使用し、培養槽の洗浄が不要であることから効率が高く、小中規模の多品種製造向き

大型SUS

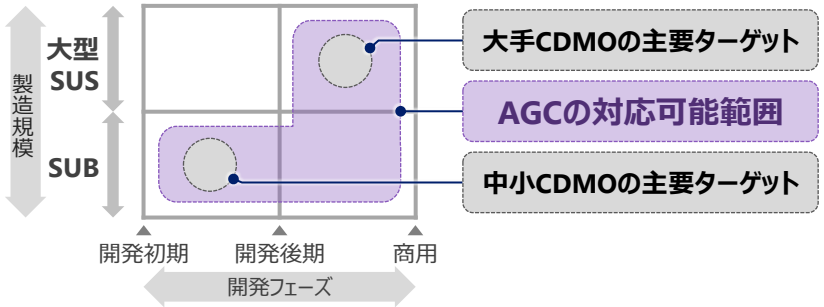
ステンレス製大型培養槽。
商用品の大規模製造向き

製造規模

2,000L　12,000L　20,000L

AGCのバイオ医薬品CDMO事業の対応可能範囲

SUBと大型SUSの組み合わせによって、**生産規模・開発フェーズの幅広いニーズに対応可能**



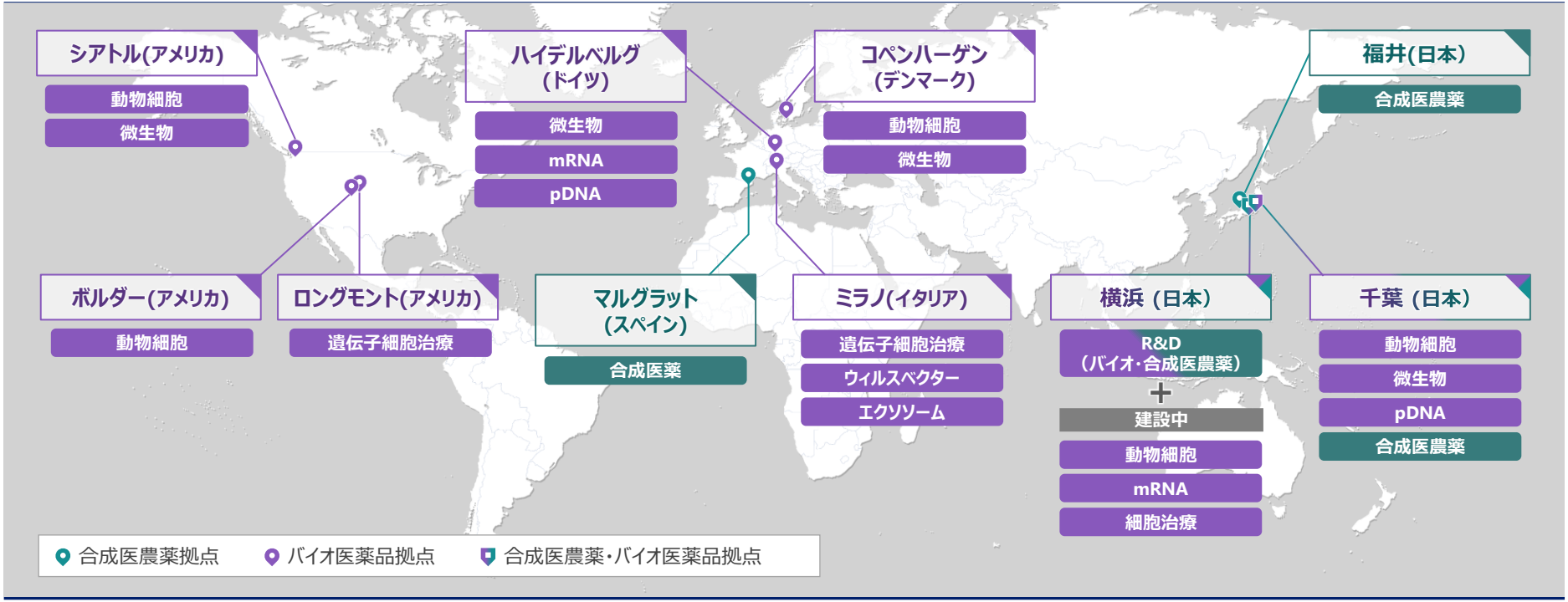
* 当社推計

©AGC Inc.

ライフサイエンス　グローバルサービス展開

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ **日米欧３極**で統合された高度なcGMP体制を構築、
どの地域からも同様に**高水準な開発・製造サービス**を**幅広い分野で提供**

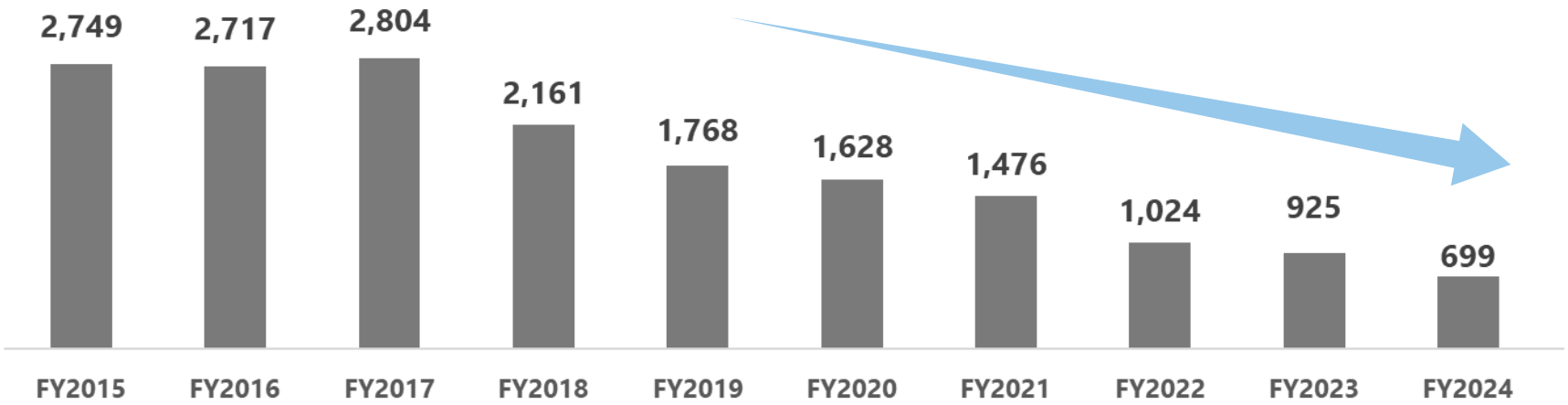


©AGC Inc.

政策保有株式の縮減

- 政策保有株式（みなし保有株式を含む）は原則として保有しない方針
- 2024年末の政策保有株式は64銘柄699億円（うち、みなし保有株式1銘柄454億円）
- 2025年も縮減を継続中。今後さらなる縮減に取り組む

政策保有株式の残高推移* (億円)



*みなし保有株式を含む期末残高

©AGC Inc.

社外からの評価

AGC
Your Dreams, Our Challenge

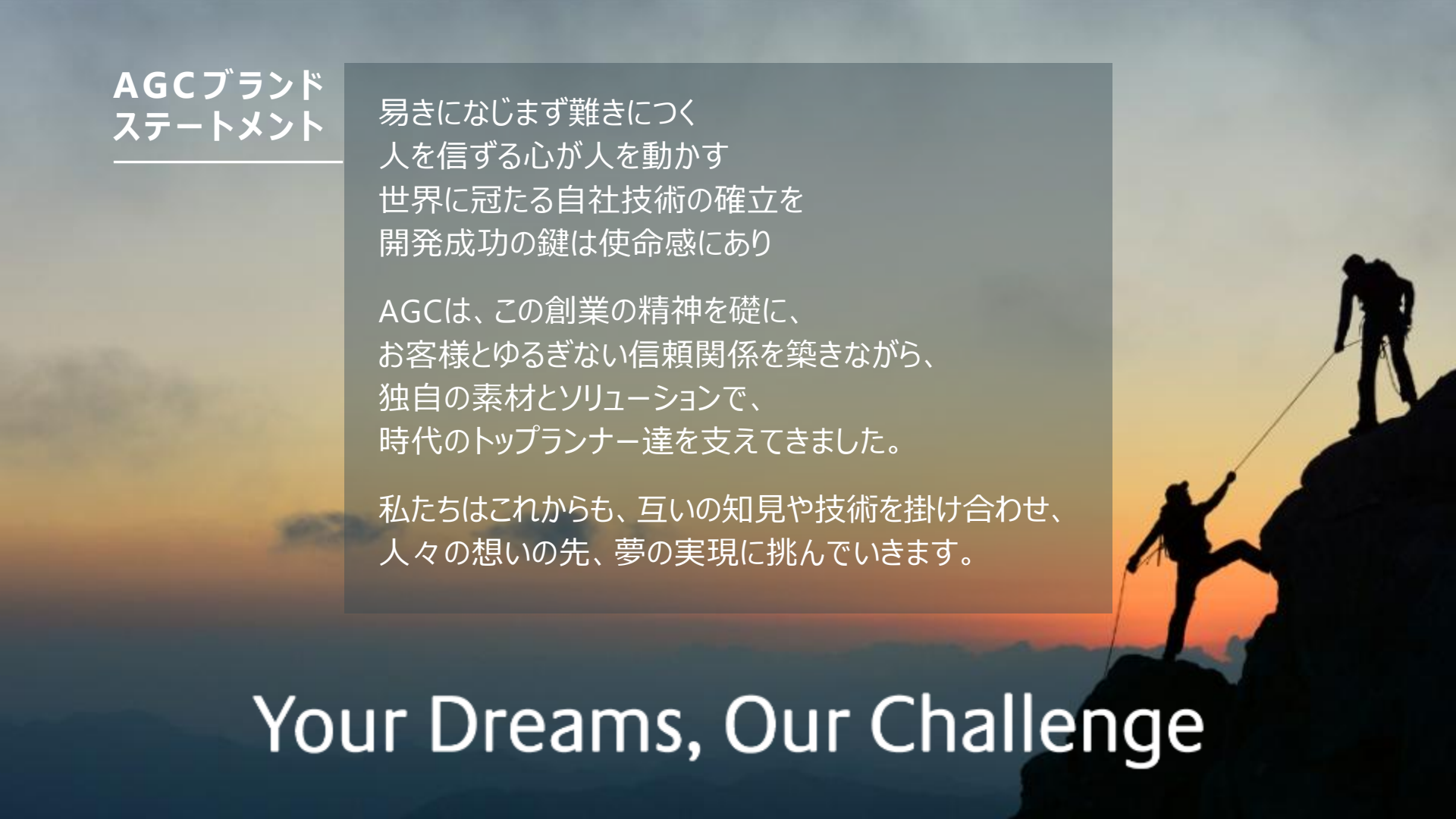
FTSE4Good	**FTSE4Good Index Series** に選定
FTSE Blossom Japan Index	**FTSE Blossom Japan Index** に選定
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	**FTSE Blossom Japan Sector Relative Index** に選定
S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数	**S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数**に選定
CDP DISCLOSER 2023	**CDP気候変動レポート2023 A-**評価
SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION	**SBTi 温室効果ガス削減目標「WB2℃」**認定取得
NIKKEI Smart Work ★★★★ 2024	**「第7回日経スマートワーク経営調査」4星** の格付けを獲得
GOLD | Top 5% ecovadis Sustainability Rating NOV 2024 / SILVER | Top 15% ecovadis Sustainability Rating OCT 2024 / BRONZE | Top 35% ecovadis Sustainability Rating JUL 2024	**EcoVadisサステナビリティ評価** で**高評価** を取得
Top 100 Global Innovator 2023 Clarivate	**Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023** に選定
DX銘柄2024 Digital Transformation	**「DX銘柄2024」**に選定

AGCブランド ステートメント

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

AGCは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。



予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC
Your Dreams, Our Challenge